

事業所名

児童発達支援放課後等 遊び研究所 ねじねじ

支援プログラム (参考様式)

作成日

2026年

3月

1日

法人(事業所)理念	個性、尊厳を尊重し、児童にとって最適な環境で社会的自立。生活的自立の実現を目指します。児童が自己肯定感を強め、安心して健やかに過ごせるよう場所を提供することに努めます。		
支援方針	一、児童の安全と安心を最優先に考え、心身共に健やかに成長できる環境を提供します。 二、保護者と協力し、家庭と連携した支援を行い、日常の困りごとを共に解決していきます。 三、一人ひとりの発達段階に応じた適切な支援を行い、個々の能力を最大限に伸ばせるよう努めます。		
営業時間	10時	0分から	17時0分まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康状態の常なるチェックと必要な対応を行います。 その際、意思表示が困難である利用者様の障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行います。 また健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を送り出すことを支援していきます。	
	運動・感覚	楽しく体を動かしながら、日常生活に必要な動作の基本をとなる姿勢保持、手足の動かし方の習得を目指します。 遊びを通して、感覚を十分に活用できるよう支援していきます。	
	認知・行動	本来もつ視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように遊びを通して支援していきます。 物の個数や形、重さ色など、機能や属性の認知形成ができるよう支援していきます。	
	言語 コミュニケーション	指さし、身振りなどのサインを用いて、環境の理解と意思伝達ができるように支援していきます。 日常生活の中で、実体験と言葉の意味を結びつけることで言語の発達を促し支援していきます。	
	人間関係 社会性	周囲の人と安定した関係性を築けるよう、大人が介入して行う連合的な遊び、役割の分担などを通してルールを学べるよう支援していきます。 気持ちの情動の調整ができるよう支援していきます。	
家族支援	日常でのお困りごとの相談や、児童の成長に伴った事例の共有や支援の方法をおひとりで抱えないようなサポートをしていきます。	移行支援	保育園、幼稚園、学校の活動の中での集団での自身の立ち位置に課題と訓練の方針を見出し支援をしていきます。
地域支援・地域連携	地域の幼稚園・保育園・医療機関・福祉機関と連携をし、児童の成長を多方面から支えます。	職員の質の向上	経験や職種に応じた研修の参加を促したり。定期的に行い、支援のスキル向上の機会を作っていきます。
主な行事等	地域社会の一員として活動に参加できるよう、季節行事の開催や地域のイベントに参加し、社会とのつながりを深める機会を提供します。		